7）特にファン吸込側の抵抗物や配管による偏流・旋回流れは、ファン性能に大きな影響を与えます。サージング運転になったり、電流値が過大になる・大きく振れる、振動が大きくなる（場合によっては軸受が早期に破損する）場合があります。吸込側は直管部を設けるか、整流板を設けるなど、均一に空気が流れ込むよう、配慮されることをお勧めします。
また、吐出し口直後の急な曲がりなども大きな圧力損失や振動が大きくなる原因となりますのでご注意ください。

3. 保守について

詳細については、取扱説明書をご参照ください。

1）ファンごとに運転日誌をつけ、ファンの運転状況・来歴などを記録してください。ファン点検時に平常時の値と比較して、異常が生じた場合はその原因を調べてください。ファン前後のダクトやフィルタ・ダンパー等についても定期的に点検してください。
また、少なくとも1年に1回は定期点検を行ってください。24時間連続運転などの場合は、特に、点検周期を短くし、異常発生の予防を行ってください。

点検内容

①運転状態：圧力・風量・電流・振動・音・運転時間
②消耗部品の状態：ベルトの磨耗・芯出し状態・張り状態
軸受や電動機の異音の有無・温度
③外観状態：ファン内外面のよごれ・ほこりの付着・発錆
ボルト類の緩みの有無

2）ファンは1日8〜10時間の連続運転を基本としております。頻繁な始動停止・急激な加減速・負荷変動や24時間連続運転などの場合、早期に消耗部品（軸受やベルト）の磨耗・破損が発生するばかりでなく、ご使用状況によりましては消耗部品以外の部品の不具合が発生することもあります。このような場合は、早期の点検をお願いします。
24時間連続運転の場合は、定期的な消耗品の交換や点検により、送風機能停止に至る前に予防を行うことをお勧めいたします。また、機能停止時に備えて、予備機や予備部品をご用意されることをお勧めします。

消耗部品の交換目安

消耗部品	軸受	Vベルト
交換時の目安	騒音が激しくなった時や異常音があったとき	表面が損傷してきたとき
おおよその交換時期	3〜4年に1度（通常運転） 10000時間（連続運転）	1〜2年に1度（通常運転） 8000時間（連続運転）

通常運転：1日10時間程度の運転で正常に使用された時の値